

紹介：三重大大学の学生調査

三重大大学では、教育会議（議長を教育担当理事とし、大学全体の教育について全部局の代表が協議する）及び地域人材教育開発機構（旧 高等教育創造開発センター）を中心に、教育の質保証に向けた取組として、①修学達成度調査、②授業アンケート、③教育満足度調査、④卒業生・事業所調査を実施しています。これらの調査は、今後の三重大大学の教育改善に資する基礎資料を得るために実施しています。引き続き実施へのご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

調査名	大学	部局	学生
①修学達成度調査	機構長から各部局へ集計結果の分析依頼	分析結果報告書の作成	「4つの力」の各学年における到達度の振り返り
②授業アンケート	教育会議議長各部局に集計結果の分析依頼	分析結果報告書の作成（改善点・対応法の策定）	「4つの力」の授業における到達度の振り返り
③教育満足度調査	機構長から各部局の集計結果・自由記述の分析依頼	分析結果報告書の作成（改善点・対応法の策定）	学内限定のウェブページで部局からの回答を確認

表：三重大大学で実施している学生調査と結果の活用

（教学IR・教育評価開発部門 久保田祐歌）

全学FD開催のご案内

「TAの役割と心構え：

学習支援と指導のスキルアップ」

場所：環境・情報科学館3F PBL演習室

対象：2018年度TA採用予定者

※初めてTAを担当する大学院生向け

TAを目指す学部生（SA等）も参加可能

内容：

■ TAの仕事とは？

■ ケースに基づくディスカッション

■ 様々な立場での関与のポイント

■ 基本的な心構え、学生との関係づくり

担当：山本裕子、和気尚美、守山紗弥加

お申し込み方法：

2018年4月6日（金）までに、①お名前、②ご所属を明記の上、地域人材教育開発機構（chiikijinzaib@ab.mie-u.ac.jp）へメールでお申し込み下さい。当日のご参加も歓迎します。



『三重大大学高等教育研究』第24号発行

『三重大大学高等教育研究 第24号』（旧 大学教育研究：三重大大学授業研究交流誌）を発行しました。

本誌は平成5年創刊以来、大学教育における教育方法・教育内容、および教育実践に関する論文の発表とその共有という目的を継承し、さらに平成28年度より、大学教育を基盤とした社会貢献、地方創生、大学発ベンチャーなどの教育研究のイノベーションなど、多様な高等教育に関する教育実践論文を広く学内外に募っています。

第24号では原著論文が3本、ショートレターが5本掲載されています。冒頭には、2017年11月開催の寺崎昌男先生によるご講演、全学FD・SD「大学アイデンティティの共有と教員・職員の役割－自校教育の体験をふまえながら－」の開催記録も掲載されていますので、ぜひご参照ください。

編集後記

本号は地域人材教育開発機構が主催した、2017年10月から2018年3月までの全学FD、シンポジウム等の開催報告（実施部門が執筆を担当）を中心に構成しています。

3月末でAL・教育開発部門の守山紗弥加先生が当機構を離れます（教養教育院へ異動）。地域創発部門の永野聡先生、佐藤彩子先生、前川悠先生と金野奈々教務補佐員はご退職されます。これまでご尽力くださり誠にありがとうございました。私も本ニュースレターの編集が三重大で最後の仕事となります。この場をお借りしてお世話になった皆様に心より御礼申し上げます。（久保田祐歌）

NEWS LETTER vol.50 2018年3月30日発行

国立大学法人三重大 地域人材教育開発機構

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577

TEL: 059-231-5615 FAX: 059-231-2354

E-MAIL: chiikijinzaib@ab.mie-u.ac.jp

http://www.dhier.mie-u.ac.jp/

三重大大学 地域人材教育開発機構

NEWS LETTER

vol.50

2018.3.30

全学FD・SD 「大学アイデンティティの共有と教員・職員の役割－自校教育の体験をふまえながら－」を開催！

2017年11月21日、地域イノベーションホールにて、当機構主催による、全学FD・SD「大学アイデンティティの共有と教員・職員の役割－自校教育の体験をふまえながら－」が開催され、学内外から約60名の参加がありました。

本講演は、講師に大学教育の第一人者である寺崎昌男先生（東京大学・桜美林大学・立教大学名誉教授）をお迎えし、重要な転換点にある今、原点に立ち返り、大学のアイデンティティとは何か、教職員の役割とは何かについて、本学教職員と一緒に考える学習会として企画しました。



寺崎昌男先生による講演

寺崎先生から、大学のアイデンティティと教職員の役割について自校教育をされてきたご経験を踏まえてご講演いただきました。先生は、今は大学人（教職員）にとって「全てを原点から見直す」という作業をすべき大切な時代であり、大学の独自性と理念を共有し、発展させていくためには、教員と職員が一緒になって協働することこそが極めて重要であると話されました。

とりわけ、大学の理念である目指すべき人材像を目標として設定することがいかに肝要か、人材像の設定がその後の一貫した大学独自のカリキュラムにいかに関与的に繋がっていくのか、そのために学生と教職員が自校についての学びを深めることがいかに有意義であるかをお伝えいただきました。



会場の様子

ご講演後の質疑応答では大変活発な議論が行われました。本講演は大学人が大学の原点に立ち職務を振り返って新たなステージに向かうための、学びを深める大変有意義な時間となりました。ご参加いただきました皆様、ご出席いただきまして誠にありがとうございました。

なお、本ご講演の内容は、2018年2月発行の『三重大大学高等教育研究 第24号』に収録されておりますので、ご興味をお持ちの方は是非ご覧ください。

（アクティブラーニング・教育開発部門 山本裕子）

学習支援ニーズアンケート結果報告

三重大大学の学生が、日頃の学びの中でのどのような悩みや問題を抱えているのかを把握する目的で、学生の学習行動や情報利用の状況について尋ねる「学習支援ニーズアンケート」（以下、本アンケート）を実施しました。本アンケートは、地域人材教育開発機構と附属図書館の共同により、2017年7月7日から8月6日までの1ヶ月間を回答期間として行ったものです。回答方法はMoodleを用いたウェブアンケート型で、総回答数は787でした。

本アンケートの結果、卒業までに身に付けたい事項には専門分野の知識や一般教養が上位に挙げられている一方、日々の学びの課題としては、レポートの書き方や、プレゼン

テーションの方法、文献の調べ方等、大学で学ぶ上で必要不可欠な基礎的スキルが上位に挙げられていることが明らかになりました。

本アンケートの結果をもとに、地域人材教育開発機構と附属図書館とが協力し、2018年度から環境・情報科学館2階の一角に、学習サポートデスクを開設します。学習サポートデスクでは、レポートの書き方、プレゼンテーションの方法、地域資料の収集・活用方法等に関する様々な相談に大学院生が応じます。本アンケートの回答データは、サポートデスクで行う学習支援サービスのあり方や体制を検討する上での重要な参考資料として活用する予定です。（大学図書館・学習支援部門 和気尚美）

全学FD/三重大学COC+シンポジウム開催報告

アクティブラーニングの効果と その検証 (10/2)

10月2日(月)、地域イノベーションホールにおいて、全学FD「アクティブラーニングの効果とその検証」を地域人材教育開発機構主催で開催しました。

山本裕子先生司会のもと、まず菊田修一副機構長の開会挨拶があり、続いて講師としてお招きした京都大学高等教育研究開発推進センター教授の溝上慎一先生より、そもそもなぜアクティブラーニング(AL)が必要なのかという問いに始まり、導入の背景、AL型授業の効果検証についてご講演いただきました。戦後日本社会の変化に伴う「学び」の変容や今後20～30年先を見据えた教育の方向性を念頭に置きながら、ALについて学びました。職業人へのトランジション(移行)を見越した上でどんな力や資質が必要であるかを考えることが重要であることも示唆されました。



講師の溝上慎一教授(京都大学高等教育研究開発推進センター)

学内・外から約65名の参加がありました。後半の質疑応答・ディスカッションでは、AL型授業を行う上での適切な人数や効果的な使用教材等についても話題になり、心理学的知見および数多くの実践経験をもとに、具体的なアドバイスもいただきました。事後アンケートより、高校教育におけるALの取組状況を踏まえた高大接続の重要性や、調査結果に基づく効果検証の有用性について等、刺激的な話題提供となったこともうかがえました。



会場の様子

山本俊彦教育担当理事からの閉会挨拶では、今後益々深刻な少子化問題等を抱える状況下において生き残りをかけ、学生・社会から必要とされる三重大学を目指すべく、本日の内容を教育実践に具体化していけるようにと述べられました。

(アクティブラーニング・教育開発部門 守山紗弥加)

地域イノベーションを推進する 三重創生ファンタジスタの養成 (11/26)

11月26日(日)、三翠ホールにおいて、三重大学COC+シンポジウム「地域イノベーションを推進する三重創生ファンタジスタの養成～明日のファンタジスタの現在～」が開催され、県内大学関係者等約230人が参加しました。

シンポジウムの司会は、三重創生ファンタジスタクラブの学生2名が行い、冒頭、駒田美弘 学長、渡邊信一郎 三重県副知事より開会挨拶があった後、高知大学の受田浩之 副学長・地域連携推進センター長による「地方創生に向けた高知大学の挑戦」と題した基調講演が行われました。



受田浩之高知大学副学長・地域連携推進センター長による講演

続いて、下記の4つのテーマに分かれての分科会が開催され、どの分科会でも活発に意見や質問が挙がりました。

- 第I分科会(講演)
「地方大学の魅力をどう発信する? 学生募集と戦略」
- 第II分科会(講演)
「全学改組担当職員から見た地域のニーズに対応した教育組織改革のなかで事務職員ができること」
- 第III分科会(パネルディスカッション)
「学生にとっての魅力的な働き場とは? 学生が地域、産業界に求めるもの」
- 第IV分科会(パネルディスカッション)
「高等教育機関との連携が生み出した新しい授業のカたち」

また、ホワイエで行われたポスターセッションでは、学生らがそれぞれの地域活動等事例の報告を行いました。

その後、三重大学COC+事業責任者である山本俊彦理事(教育担当)・副学長より、「三重大学COC+の歩み～高等教育機関との連携が生み出した教育プログラム～」と題して、三重大学でのCOC+の取り組みが紹介されました。

高知大学 受田浩之 副学長・地域連携推進センター長の総括の後、小林慶太郎 四日市大学副学長からの閉会挨拶でシンポジウムは盛況のうちに締めくくられました。

(地域創発部門 永野聡)



会場の様子

見学ツアー/全学FD/エースセミナー開催報告

留学生対象県内企業プレインター ンシップ見学ツアー (12/16)

12月16日(土)に、外国人留学生のための県内企業見学ツアーを実施しました。これは、2月に実施されたインターンシップの受け入れ先企業である美杉リゾートと鳥羽シーサイドホテルを見学したものです。このツアーに先立って12月9日(土)にはビジネス日本語研修が開かれ、この研修に参加した12名の留学生のうち10名が企業見学ツアーに参加しました。美杉リゾートでは、企業概要を説明していただいた後、温泉、パン焼き窯やビール工場などを見学し、最後に豪華な昼食をいただきました。また、留学生たちは、集客に関するプレゼンテーションを社員の方々に聞いていただきました。鳥羽シーサイドホテルでは、企業概要を説明していただくとともに、客室や温泉、宴会場、食堂などを見学させていただきました。また、ホテルの窓から見える絶景を楽しみました。



プレゼンテーションの様子

留学生たちにとって今回のツアーは、実際の日本のビジネスシーンを見学できる貴重な機会となりました。このツアーに参加した留学生のうち3名の希望者が、美杉リゾート(1名)と鳥羽シーサイドホテル(2名)での5日間のインターンシップに参加しました。

(グローバル人材教育開発部門 正路真一)

企業のエースが講師の 2017年度「エースセミナー」 (第5～第10回)

三重大学の学生に県内の優良企業で働く魅力ややりがい伝えるために、2017年6月から「エースセミナー」を開催しました。1回のセミナーにつき、2社のエース社員の方にお越し頂き、お話をうかがった後で、自由に質問ができる時間を設けました。後期10月～12月に開催した計6回のセミナーでは、右記の12の企業及び金融機関の社員様にお越し頂きました。前期・後期合わせて計10回のセミナーにおいて20社の皆様にご協力を賜りました。

参加学生からは、三重大学OB・OGの活躍を直接お聞きできて良かったという声や地元で働く利点を知ることができたという感想を頂きました。開催にご協力くださった関係者の皆様に心より御礼申し上げます。

(教学IR・教育評価開発部門 久保田祐敬)

平成29年度第2回、第3回 FD情報交換会

12月20日(火)に第2回FD情報交換会を開催しました(各局FD委員、地域人材教育開発機構員 計9名)。菊田修一副機構長の挨拶の後、まず平成29年度のFD活動状況について各局からご報告いただきました。

グループ別のテーマ設定による実施や、専門家を講師とした教育的課題への対応策、月例研修会に加え、有志が集まって情報・意見共有できる場としてのFD懇話会の実施等、様々な取組みや現状における課題が挙げられました。



FD情報交換会の様子

続いて全学FDの実施報告を出発点として、「全学FDへの参加をさらに促すにはどうしたらよいか?」をテーマとし、参加が伸び悩む理由、FDに望むもの、FDを進める上での困難等を中心に議論しました。多忙な業務の中での参加の難しさやFDに対する先入観、自校教育不足など様々な理由が推察されましたが、開催内容・時期のコーディネートと適切な周知法、動画教材提供によるフォローアップ等、具体的な改善策も多数提案されました。貴重なご意見を踏まえ、今後の企画実施につなげていくことを確認しました。

2018年3月22日(木)には第3回FD情報交換会が実施され、今年度の総括と今後の計画に関する情報共有が行われました。

(アクティブラーニング・教育開発部門 守山紗弥加)

- ◆ 第5回エースセミナー(10/4)
日本トランスシティ株式会社 部長補佐 横井 直樹氏
ヤマモリ株式会社 取締役執行役員 管理本部長 三林 圭介氏
- ◆ 第6回エースセミナー(10/18)
九鬼産業株式会社 総務部 水谷 祐輔氏
株式会社安永 CE事業部 マーケティング部長 谷 浩一氏
- ◆ 第7回エースセミナー(11/1)
株式会社メディカル光 情報管理室 主任 杉本 大助氏
井村屋株式会社 品質管理部長 加藤 光一氏
- ◆ 第8回エースセミナー(11/15)
万協製菓株式会社 品質管理部 葛山 陽菜氏
三重交通株式会社 企画部 岡村 将幸氏
- ◆ 第9回エースセミナー(11/29)
株式会社交洋 総務部 総務課人事チーム 塩留 芳江氏
ジャパンマテリアル株式会社 総務人事部 堀田 和裕氏
- ◆ 第10回エースセミナー(12/13)
株式会社三重銀行 人事部 西川 潤氏
長島観光開発株式会社 人事部 若林 弘幸氏